

NGO福岡ネットワーク機関誌 国際協力ニュース August 2019 Vol.133

Contents

P 2-3 「国際協力イベントレポート」 P 4-5 「FUNN加盟団体インタビュー」

P 6 「FUNN活動レポート」 P 7 「イベント情報」



▲第19期NGOカレッジ「あなたのそばにあるSDGs～知り、考え、行動する～」

第19期 NGO カレッジ 開催直前! 国際協力イベントレポート

特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク(FUNN)主催で実施する国際協力の連続講座第19期NGOカレッジ「あなたのそばにあるSDGs～知り考え行動する～」が11月9日(土)からスタートします。世界で今起っている様々な課題や問題を解決するために自分たちで何ができるのだろうか、モヤモヤしている気持ちをNGOカレッジを受講することで少しでも解決に近づければと思っています。

初めて受講を考えているが「国際協力って難しそう」「敷居が高そう」「興味はあるけど」と思っているみなさんへぜひ一步前に進んでもらいたいとの思いから今回の国際協力ニュースはFUNNが実施したセミナーのレポートを企画しました。レポートを読んでもらう事で「行ってみようかな」「参加できそう」「初心者でも大丈夫そう」と不安を払拭できるきっかけになれば幸いと思います。

NGOカレッジとはNGO福岡ネットワーク(FUNN)主催の連続講座で、国際協力に関心のある市民を対象に、NGOの活動や世界の課題を学び、自らにできることを考える場です。(第19期 NGOカレッジは「あなたのそばにあるSDGs～知り・考え・行動する～」をテーマにしています。)



カードゲーム「2030SDGs」でSDGsを学びました。

NGOカレッジプレ講座
「あなたのそばにあるSDGs」

9月19日、西南学園大学主催、
NGO福岡ネットワーク(FUNN)・
SDGs推進ネットワーク・九州の協
力によるNGOカレッジのプレ講座「あ
なたのそばにあるSDGs」を開催。

カードゲーム「2030SDGs」を
通じてSDGsを学びました。

ゲームの内容は?

このゲームは、それぞれのプレイヤー
に与えられる「大いなる富」「悠久自適
」「貧困削減」「環境保護」「人間贊歌」
といったゴールを目指して、お金と時間
を使って生産活動や医療・教育の充実
と言った様々なプロジェクトを実施して
いきます。プロジェクトを実施すると新
たなプロジェクトとともににお金や時間・
ゴール達成に必要なカードなどを得ら
れます。また、さまざまなプロジェクトが実
施される都度、世界の経済や環境・社
会の状況が刻々と変化します。状況の
変化に伴ってプロジェクト実施のための
条件も変わりますが、そうした変化の
中で世界の課題が相互に関連し私た
ちの生活とも密接に関係していること
を感じ、SDGsの目指す17の目標
の達成に向けた取り組みを考えます。

参加者の感想

○SDGsについて知ることができた」と
が一番の学びとなりました。これから
小さくても行動に移していく」と決意し
ました。(学生)

○ゲームを通して楽しく学ぶことができ
ました。堅苦しいものというイメージもな
くなつたので、自分にできる足元からアク
ションをおこしていく」と思います。(学生)

○まずは知ること、そして少しでも考え
ることから始め、自分の身近でできること
をやっていきたいです。(学生)

○SDGsはとても大きな目標で、自
分とはあまり関わりのないことだと思つて
いましたが、自分の身近な行動一つでも、
SDGsの取り組みに当たはまり、自分
にできることをやるのが、目標達成に一
番つながると思いました。参加してよかつ
たです。(学生)

○堅苦しくなく、気軽な感じで楽しく
SDGsを学ぶことができて良かった。
学生の皆さんが高い意識を持つて意欲的
に参加されている様子(中には予習をして
きている学生さんもいた)が伝わってき
て、頼もしく感じた。(教員)

アンケートの多くは「SDGsについて理
解できた」そして、「SDGsについてもつと
学びたい」、「SDGsの目指す課題解決
に向けて取り組みたい」との回答がありま
した。



▲講師の亀井直人氏

NGOカレッジで
「2030SDGs」を行います。

11月からFUNNの主催事業、NGO
カレッジ「あなたのそばにあるSDGs」
を実施します。11月9日に行われる第1
回では「2030SDGs」を再度実施
します。初めての方はもちろん、すでに体
験したかたにも新たな発見や学びがある
かと思います。

第2回は「貿易ゲーム」。こちらは国際
協力で体験する「世界の貧困と格差につ
いて学びます。NGOカレッジは全5回シ
リーズで実施します。(詳細は次ページ)

ファシリテーターのSDGs推進ネットワ
ーク・九州の亀井直人代表は最後に「知
る、知らせる、話し合うことから行動が
始まる。グローバルに考え方一貫で行動
する」の言葉でまとめました。今回の講座
がそのきっかけになれば幸いです。

第2回SDGs勉強会

福度を高めるためにさまざまな活動をされています。

消費税が25%であるデンマークですが、教育や医療・福祉などが充実しており、老後のための貯金が無くても安心して生活できるそうです。

デンマークはSDGsへの取り組みも進んでいます。今回はその土台となる質の高い教育とは? ということをテーマにお話いただきました。

話を聞いてみると、日本とはかなり



昨年10月、西日本新聞記者の坂本信博氏を講師にお招きし「第1回SDGs勉強会」を実施しました。「外国人労働者問題を考える」をテーマに勉強会を行い、33名のかたにお越しいただきました。これに続きまして今年10月13日に「第2回SDGs勉強会」を実施しました。

今回の講師は、教育文化研究所代表の長阿彌幹生(ちょうあみみきお)氏。「幸福度世界一の国」デンマークとの交流事業を開始し、デンマーク研修ツアーや研究会を定期開催。日本の幸

違いのあるデンマークの教育システムに驚きました。教師の待遇が日本よりも保証されていることをはじめ、教師は物を教える「先生」ではなく、円滑に進行する役割の「ファシリテーター」であること。デンマークでは教師は子どもたちが自ら学ぶことを出助けすることを大事にしているとのことでした。

ワークショップでは春日市市会議員の川崎英彦氏、NGO福岡ネットワークの山田も加わり、自身のSDGsへのかかわり方を紹介しました。

後半は参加者のみなさんはそれぞれSDGsについてどうかかわっていくかを考える時間。参加者のみなさんは活発に議論を白熱させていて、どのグループも楽しそうに自分の意見を述べていた姿が印象的でした。

「あなたのそばにあるSDGs~知り、考え、行動する~」

▼会場:西南学院大学コミュニティセンター

▼参加費:

第1~4回全講座申込:5000円
各講座申込:2000円 (学生は半額) ※第5回目は無料

▼お申込み方法

- (1) ウェブサイトから:https://ngofukuoka.net/19th_ngo-college-2/
- (2) mail、電話、FAX(名前、年齢、所属、TEL、E-mailをご連絡ください)

NGOカレッジとは国際協力に関心のある市民を対象に、NGOの活動や世界課題の現状等を知り、自らにできることを考える学習機会の場です。NGO福岡ネットワーク(FUNN)主催の連続講座です。

「第19期NGOカレッジ」を開催します

第1回目 ゲームで学ぶSDGs

(持続可能な開発目標)



2019年11月9日(土)

講師:亀井直人氏

各講座内容

※詳細はチラシまたは

ウェブサイトをご覧ください

第5回目 特別講演 世界の平和をつくる取組について考える

2020年1月25日(土)

講師:安田菜津紀氏

第4回目 世界の貧困といのちを考える~自らの命は自らの手で~

2019年11月30日(土)

講師:二ノ坂保喜氏

第3回目 SDGsで地方創生~私たちの暮らしと世界のつながり~

2019年11月23日(土)

講師:神田浩史氏

第2回目 貿易ゲームで体感する世界の貧困と格差ゲーム

2019年11月16日(土)

講師:藤井大輔氏



加盟団体インタビュー



ラオス現地NPOとの活動

特定非営利活動法人 ジヤツビ

ラオスに「学校保健」という言葉も概念もなかった1992年から子どもたちの教育環境の向上と充実を願い、日本(鹿児島県)とラオスで活動を続けてる「ジヤツビ」。今回は事務局の高橋さんにインタビューしました。

「ジヤツビ」は何をしている団体

「ラオスで学校保健教育を中心に行ける子どもたちが健康で学校に行けるよう支援している団体です。医師である初代代表が、ラオス訪問時に学校保健教育の不備を知り、子どもたちの健康を衛生知識で守りたいとの思いから、地元で同僚や会議所メンバーに呼びかけ、友人関係にあるラオス人医師の協力を得て放送することで、より定着できるようになります。日本語の絵本には翻訳シール作って貼っています。それから歌も作りました。衛生の歌(アナマイソング)をラオス人音楽家と作詞作曲、CDにしてコンテストを実施したりラジオで放送しました。また、ラオス人医師による健康診断も行っています。

それから校舎の建設、補修工事。ドナーの募金で黒板や机いすを製作。スタディツアーなどで現地を訪問できる時には、文具やスポーツ用品の提供も行っています。初期のころは、井戸を掘ったりトイレを設置したりもしました。

得て設立しました。ラオスの子どもたちが健康に育ち、教育を受けられるようにお手伝いしようという目的で生まれました。

設立は1992年。

これまでの活動内容は

健康教育として教師を対象に教育セミナーを実施しています。

子どもを対象としては、衛生意識の向上のために衛生の絵本をラオス語に翻訳し紙芝居にして読み聞かせる活動を行っています。その内容はラジオドラマにして放送することで、より定着できるようになります。

FUNNに加盟するメリット

FUNNが主催する研修プログラムに参加させていただきました。それまでのところではラオスの子どもたちを対象にしていました。今後は高齢者にも広げ、健康を啓発する活動にすることになります。

今後の活動方針

これから鹿児島県以外のNGO情報を提供いただけることは助かっています。また、ラオスに現地事務所を持つ日本のNPO法人「ISAPH」とは協力関係にあり、栄養改善プロジェクトの現場で学校保健活動をしています。

「ジヤツビ」のことをもっと知るには

「ジヤツビ」現地スタッフとして保健医療の専門家のラオス人に協力してもらっています。また、ラオスに現地事務所を持つ日本のNPO法人

年末にスタディツアーを実施

から鹿児島県以外のNGO情報を提供いただけることは助かっています。



▲スタディツアーの様子

特定非営利活動法人 じやつビ

〒895-0051

鹿児島県薩摩川内市東開闢町3番1号

TEL,FAX:0996-27-0193

<http://www.jaddo.or.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/jaddo.KAGOSHIMA/>

特定非営利活動法人 九州海外協力協会

青年海外協力隊の帰国隊員を中心となり活動を行う九州海外協力協会。今回は事務局長の馬田さんにインタビューしました。

九州海外協力協会(NPO-Kyushu)の活動目的



▲ラグビー講師育成プログラムの模様

「シンモンの一つとして「JICAボランティアを経験した方がその経験を日本で還元できる場を提供すること」ということ掲げています。それを日本社会課題の解決に役立てることができればと考えておもむ。

協力隊経験者が活躍している例

やはり今が旬の「ラグビードショット」か。当協会の米村(協力隊派遣時の職種は小学校教育。「ラグビー経験者で現在も社会人クラブチームの現役選手)がラグビーを通した国際交流イベントにかかわっています。ワールドラグビー認定バグハム「ChildFund Pass It Back Cup in Beppu delivered by DHL」

NPO-Kyushuの開発教育

開発教育の分野も私たちの活動のメーンとなります。途上国のインフラ整備、人材育成などの直接的な支援はも

ちろん重要なのですが、その経験を通して私たちが自身の生活を見つめ直すことも重要と考えます。自分の生活とのつながりに気づいてもらったり、世界の様々な課題を「自分じと」として考えてもらいつッカッケを提供しています。具体的には、今年の夏に高速大容量第5世代(5G)移動通信システムを用いた、福岡／グアムの遠隔授業でファシリテーターを担当しました。幅5メートル×高さ2・5メートルの大画面の映像と遅延のない通信で、両国の中学生たちを繋ぎ、海洋ハラスメントの問題について語り合ったところでした。両国の中学生たちがそれぞれ海岸で見つけたプラスチックごみを見せ合つながらして、現状を確認するところに、今から自分たちにでもやめるなどいろいろ意見を交わしました。このほかにも、九州名県の「JICA国

じんくわやラグビースキルを提供する」とです。そのペーチを対象にSDGsの研修を行いました。始めは「SDGsなんて今まで考えたことないー」、「ライフスキルについて何?」と困惑のペーチたちでしたが研修が終わるといいには「子どもたちに会うのが楽しみ」と期待でございました。

JICAの「草の根技術協力事業」を活用して、カンボジア教員能力向上支援を行っています。JICAのプロジェクト期間(2年間)は終了しましたが、その後のフォローアップの活動を続けており、少しでも定着率があがむよう継続的なサポートを行っています。それから海外からの教育関係者の研修員の受け入れ、グラード(マダガスカルの遊び)を通した国際理解促進、各種イベントでの出展なども行っています。

FUNNに加盟するメリット

ネットワークに加盟することで、情報を得たいときに得られる環境ができるのはありがたいと考えてします。FUNNとNPO-Kyushuでは役割としてかかる部分も多いため、ますので、今後はもっと連携を強化できたらと思います。

これからの活動

現在の事業の多くはJICAからの委託業務です。調査・研究等を行える財政的な余裕がないという問題はありますが、開発教育分野での独自の事業をできるだけ増やしていくたいと考えています。

一ありがとうございました!

特定非営利活動法人 九州海外協力協会 (NPO-Kyushu)

〒812-0025

福岡市博多区店屋町4-8 蝶和ビル503

TEL: 092-710-5310 FAX: 092-710-5304

営業時間: 月曜から金曜 09:30~17:45

<https://npo-kyushu.or.jp/>

際協力出前講座への講師派遣や、開発教育のリーダー育成のための「開発教育指導者研修」なども行っています。

そのほかの活動



▲5G通信による遠隔授業。福岡とグアムの中学生が参加

インターン報告！

8月～9月に2人の大学生が
インターンに来ました。

インターン生の2人には、広報紙や助成金事業などでのサポートをはじめ、いろいろな分野の仕事を学んでもらいました。最初はNGOとは何？から始まり、少しずつ理解を深めてもらいました。「なるほどー」という理解ができるた時の表情が印象的でした。

ネットワークNGOの役目として情報発信は大事な仕事のひとつです。国際協力ニュースの発送やSNSの運用などを手伝ってもらつたことで、実際の業務フローはどうなつていてるかなどを考えるきっかけになつたかと思います。

NGOの業務内容のほか、事務作業、メールの文面の書き方、電話対応、領収書の発行方法等についても学んでもらいました。

活動終了後、インターン派遣団体の「NPO法人ドットジェイピー」にて報告会が行われました。

その結果優秀賞を受賞
前期のインターンに統じての受賞でした。



▲山田穂乃果さん／角夏稀さん

インターンからのメッセージ

山田 穂乃果

この度は約2か月間にわたり、大変貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。インターンシップでは、主に広報のお仕事にかかわらせていただきましたが、特に印象深かつたお仕事は、ツイッターやフェイスブックといったSNSでの情報発信をやらせていただいたことです。そもそも興味分野だったこともあり、大変貴重な体験をさせていただいたと思っております。インターンシップで得た貴重な経験を、これから十分に生かしていけるよう、今後もより精進していきたいと思っております。

角 夏稀

なかなか経験することのできないNGOの仕事に短い期間ではありましたがかかることができ、多くのことを学ぶことができました。事務局の皆様は国際協力に関してはもちろんのこと、多方面にわたり知識が豊富で、何気ない会話も楽しい時間でした。また、俱楽部FUNNにて多くの人と出会えたことが「ネットワーク」の意味を実際に体感できただけで思っています。この度は、インターンをさせていただき誠にありがとうございました。

ご寄付をいただきました

宗教法人真如苑様より今年度も引き続きご寄付をいただきました。長年にわたりご寄付を賜り心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

NGO福岡ネットワークは宗教法人真如苑の支援により、【九州地域NGO活動助成金】の事業を行っています。(2014年～2019年度)

国際協力のことはNGO相談員へ！

NGO相談員制度は、NGOや一般市民からのNGOや国際協力に関する照会や相談などに対応する制度。

FUNNは外務省から委託されて、この事業を行っています。国際協力・NGOに関することならなんでもご相談いただけます。

<活用例>

- ・NGO活動への参加
- ・NGO運営の相談
- ・学校へ出張授業
- ・ホームページの更新のお手伝い



Event Information

FUNN周辺の"耳より" イベント情報

NPO法人 トゥマンハティふくおか

11/24 外国人学生歓迎交流事業
福岡市国際会館まつり

外国人学生を歓迎し日本に早く打ち解けてもらうため、そして地域住民と在住外国人の相互交流・理解を深めるきっかけづくりの交流イベントです。

■日時:2019年11月24日(日) 10:00~15:00

■場所:冷泉公園、福岡市国際会館
(福岡県福岡市博多区上川端町)

※11:00~14:45のワークショップ・レクリエーションの間に、インドネシアの楽器アンクルンの演奏があります。

PP21ふくおか自由学校

11/16 第7回講座
「発生から51年、終わらない
苦しみ、カネミ油症事件」

カネミ油症事件は、人類が初めてPCB・ダイオキシン類を直接口から食べた食品公害です。事件発生から半世紀が経過し、明らかになったことがあります。公害の被害は永遠に続くということです。被害者は今なお様々な症状に悩み苦しみ、被害は次世代に引き継がれています。カネミ油症事件の概略をふりかえり、被害の現状や被害者の果たす役割等についてお話をできれば幸いです。

■日時:11月16日(土) 開場13:30/開演14:00/終了16:30

■会場:あいれふ講堂(福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ10階)

■問題提起 三苦哲也さん 1970年生まれ。母の胎内でPCBを暴露。出生後すぐ先天性心室中隔欠損の診断を受

け、カネミ油症患者に認定。

森田安子さん 1953年生まれ。1968年15歳の時、カネミ油を摂取。発生から42年たって被害者認定。2010年新認定訴訟裁判に加わる。

■定員100名

12/7 第8回講座
「種子法廃止～ほんとうは
何が問題なのか～」

種子法が廃止されました。奇妙なことに、この法律の恩恵を受けてきた行政や農協は反対せず、ほとんど縁の無かった有機農業者たちが反対していました。このネジレはなぜ生じたのでしょうか。農業に限らず、国家(行政)と一人一人の営みの関係が問われやすい問題と、見えにくくなっている問題があります。種子法によって、私たち百姓は大切なものの土台を壊されたのに、気づかない人が多すぎます。その原因を明らかにします。

■日時:12月7日(土) 開場13:30/開演14:00/終了16:30

■会場:早良市民センター3F視聴覚室
(福岡市早良区百道2-2-1 地下鉄藤崎駅上)

■問題提起 宇根豊さん

1950年長崎県島原市生まれ。福岡県の農業改良普及員として、減農薬運動を提起。39歳で就農。49歳の時にNPO農と自然の研究所を設立。主な著書『農本主義のすすめ』『日本人にとって自然とは何か』(筑摩書房)など。

■定員88名

※11/16、12/7の両イベントとも

■参加費:1,000円(学生半額)

■予約:ohyamayairochou@yahoo.co.jp
/ 090-4357-7596(藤岡) /
080-6406-9251(大山)

認定NPO法人 地球市民の会

正職員募集

■職種:海外事業担当(佐賀本部勤務)

■雇用形態:正職員(フルタイム)

■採用人数:1名(学歴・性別・年齢・国籍:不問)

■職務時間:9:00~17:30(月~金)イベント等による休日の勤務あり(代休制)

■待遇:給与:150,000円~180,000円/月 ※試用期間が3ヶ月あります。

■勤務開始時期:2019年12月2日(月)(応相談)

■仕事の内容:奨学金事業(ミャンマー・スリランカ)担当(企画・運営・管理)など

■応募締め切り:2019年11月8日(金)(メールでの応募)※面接日 11/9(火)予定

【詳細・応募方法】<http://www.terrappeople.or.jp/main/2189.html>

★そのほかの国際協力の情報は
メールマガジンで
チェック!



正会員団体（25団体）

- *(特活)ISAPH
- *アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
- *(特活)アジア女性センター
- *(特活)明日のカンボジアを考える会
- *認定NPO法人ACE
- *(特活)エスペランサ
- *NGO Earth for Children
- *(特活)九州海外協力協会
- *債務と貧困を考えるジュビリー九州
- *佐賀NGOネットワーク
- *JVC九州ネットワーク
- *(特活)じやっど
- *認定NPO法人ソルト・パヤタス
- *認定NPO法人地球市民の会
- *チベットを知る会
- *NPO法人トゥマンハティふくおか
- *(特活)NICE
- *国際協力NGO NESTEP
- *ネパール歯科医療協力会(ADCN)
- *(特活)バングラデシュと手をつなぐ会
- *PP21ふくおか自由学校
- *福岡YMCA
- *フレンズ国際ワークキャンプ九州
- (一社)ミドリゼーションプロジェクト
- *モザンビークのいのちをつなぐ会

編集記

カードゲーム「2030SDGs」に、国際協力にさほど興味のない知人を誘ってみました。ボードゲームの好きな方なので楽しんでもらえるかな?と思ったのですが、ゲームを遊んで振り返りをするうちに「学ぶことが楽しい。国際協力に興味が出てきた」という感想をいただきました。全5回のNGOカレッジでは様々な方面から国際協力にアプローチしています。ぜひお気軽に、お誘いあわせのうえ、足をお運びください。(編集:住本)

FUNN 応援寄付 募集中！

2019年に、NGO福岡ネットワーク(FUNN)は設立から26年を迎えます。26年前の福岡で、NGO活動に関わる人たちが横のつながりの重要性を感じてFUNNを作りました。これまで多くの方々のご支援により、福岡や九州を中心としたNGO間や他セクターとのネットワークの構築、地域のNGOや国際協力活動の活性化、市民の国際協力の参加促進等の事業を行ってきました。ご支援いただいております皆さん、本当にありがとうございます。

これからもFUNNは、NGOへのサポートや多様なネットワーク構築等により、地球規模課題の解決を目指していきます。国際協力のこれからを考えること、市民の皆様や他セクターとNGOを繋げることに注力していきます。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

ご入会のお説明

NGO福岡ネットワークは、NGOとネットワークを作り、会員団体には組織基盤・活動実施能力向上のための学習会、市民の方々にはNGO活動の内容をお知らせし、ともに考える各種活動を行っております。その活動の一環として「国際協力ニュース」を発行し、会員の方に隔月郵送しています。

- | | |
|----------|----------------------------------|
| ◆正会員 団体 | 10,000円／1口:FUNNの目的に賛同して入会する団体 |
| ◆賛助会員 企業 | 30,000円／1口:FUNNの目的に賛同してそれを支援する企業 |
| ◆賛助会員 団体 | 10,000円／1口:FUNNの目的に賛同してそれを支援する団体 |
| ◆賛助会員 個人 | 6,000円／1口:FUNNの目的に賛同してそれを支援する個人 |
| ◆通信会員 | 3,000円／1口:機関誌の定期購読のために入会した団体や個人 |

★会費・寄付の振込先

郵便振替口座名: NGO福岡ネットワーク 口座番号: 01790-7-89478

※入会のお申込みは、下記連絡先までお問い合わせください。

TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net

福岡で活動する国際協力NGOのネットワーク

NGO福岡ネットワーク
FUKUOKA NGO NETWORK (FUNN)

FUNN

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1 小森ビル4A 福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」内
TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net URL: <https://ngofukuoka.net/>

◆◆NGO相談を受け付けています（外務省委嘱）◆◆◆

*火～土 13:00～18:00 *日・月・祝…休み

※事務所を留守にすることがありますので、ご来所の際はお電話くださると助かります。
※専用駐車場がありませんので、自動車での来所は、ご遠慮ください。

